

令和6年12月25日

新潟県内病院管理者様  
新潟県民医療推進協議会構成団体の代表者様  
新潟市保健所長様  
消防本部長様  
新潟県警察本部警備部警備第二課長様  
関係者各位

新潟大学医学部災害医療教育センター長  
佐藤 昇

第23回新潟MCLS標準コース指導スタッフ及び受講生の募集について（案内）

平素より、本センターにおける災害医療教育への格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、本センターでは、日本災害医学会認定の、多数傷病者への対応標準化トレーニングコース（Mass Casualty Life Support : MCLS）について、下記のと通りの開催を予定しています。

については、指導スタッフ並びに受講生を募集しますので、貴所属職員に周知くださいますようお願いいたします。また貴所属のMCLSインストラクター資格を有する職員の参加について、ご配慮くださいますようお願いいたします。

記

- 1 名 称 第23回新潟MCLS標準コース
- 2 日 時 令和7年3月22日（土）8：30～18：00（予定）
- 3 場 所 新潟医療人育成センター（新潟大学旭町キャンパス内）  
新潟県新潟市中央区旭町通1番町757
- 4 そ の 他 「第23回新潟MCLS標準コース開催要領」、 「MCLS コースカリキュラム」  
をご参照ください。

【本件にかかる連絡先】

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地  
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 中込  
TEL : 025-227-2033 FAX : 025-227-2167  
E-mail : disaster@med.niigata-u.ac.jp

## 第23回新潟MCL S標準コース 開催要領

- 1 名 称 第23回新潟MCL S標準コース
- 2 日 時 令和7年3月22日(土) 午前8時30分から午後6時まで(予定)
- 3 場 所 新潟医療人育成センター(新潟大学旭町キャンパス内)  
新潟県新潟市中央区旭町通1番町757
- 4 主 催 新潟大学医学部災害医療教育センター
- 5 受講者定員 36名
- 6 受講費 9,000円  
※受講費に昼食代は含まれません。昼食は各自ご用意ください。
- 7 指導者スタッフ インストラクター 12名  
モニター参加者 6名

### 8 申し込み方法

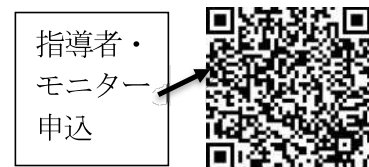
下記申込みフォーム、または新潟大学医学部災害医療教育センターのホームページ内、「イベント・研修会」からお申し込みください。

- (1) 第23回新潟MCL S標準コース受講申込みフォーム  
<https://business.form-mailer.jp/fms/3ab4157c270967>



受講  
申込

- (2) 第23回新潟MCL S標準コース指導者・モニター  
参加申込みフォーム  
<https://business.form-mailer.jp/fms/c038dda0270985>



指導者・  
モニター  
申込

- 9 申し込み〆切 令和7年1月29日(水) 17時まで

### 10 その他

- (1) 申込み際のメールアドレスは個人メールアドレスとしてください。
- (2) 申込み後に自動返信メールが届かない場合、メールアドレス誤記入の可能性があります。メールアドレスをご確認のうえ、フォームの再入力をお願いします。
- (3) 申込み多数の場合は、経験、地域性等と考慮して選考いたしますのでご了承ください。
- (4) コース受講の採否は、2月4日(火)までに連絡する予定です。

#### 【本件にかかる連絡先】

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757 番地  
新潟大学医学部災害医療教育センター 担当 中込  
TEL : 025-227-2033 FAX : 025-227-2167  
E-mail : disaster@med.niigata-u.ac.jp

## MCLSコースカリキュラム等

### 【MCLSコースの目的】

MCLSの目的は、消防職員・警察職員などが、災害現場で実施すべき医療について理解を深めることです。災害現場医療に興味のある医療従事者（医師・看護師・コメディカル・病院事務官など）に、トレーニングの機会を提供します。

### 【受講資格】

① 消防職員 ② 医師 ③ 歯科医師 ④ 看護師及び准看護師 ⑤ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師及びその他の医療関係者で、災害医療派遣業務に従事するもの ⑥ 救急救命士 ⑦ 警察官、海上保安官及び陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊の自衛官で、救急業務、救助業務又は災害医療派遣業務に従事するもの ⑧ 救急救命士法第34条第1号から第3号までの規定に基づき、救急救命士の受験資格を得ることができる学校、若しくは救急救命士養成所、大学医学部又は看護学部及び看護学校（准看護学校を含む）の学生又は生徒 ⑨ 防災業務に携わる行政担当者 ⑩ その他、運営委員会が認めるもの

### 【標準コースカリキュラム】

#### 1 座学

(ア) 災害医療・多数傷病者対応とは

① 「多数傷病者対応概論」 ② 「災害時医療対応の原則」 ③ 「DMATとは」

(イ) 現場・応急救護所における災害・多数傷者への救助・医療活動

① 「災害時の現場医療(3T：トリアージ、応急処置、搬送)」

(ウ) 災害時の指揮と統制

#### 2 机上シミュレーション

(ア) 現場における先着隊の役割

(イ) 多数傷病者対応(CSCA)

(ウ) 現場救護所の運営(3T)

#### 3 実技訓練

(ア) トリアージタグの記入方法

(イ) 現場・応急救護所におけるトリアージ(START法)

#### 4 実技試験

#### 5 筆記試験

(以上、日本災害医学会HPより)